

## 総合図書館分館案内

白鷗大学法学部教授  
白鷗大学総合図書館長

蘇 田 三千穂

法科大学院の設置と法学部の移転とにともなうて J R 小山駅東口のキャンパスに建設中であった新校舎が、この度めでたく落成いたしました。これにともなうて、これまで駅東キャンパスの法科大学院仮校舎にアネックス資料館として併設されていた総合図書館分館は新校舎内に移転し、平成 17 年 4 月 1 日から正式に業務を開始することになりました。

分館は、新校舎の 4 階と 5 階の一部に延べ 2,714 m<sup>2</sup> のスペースを擁しています。四階には 232 席の閲覧席、40 席のコンピューター・検索コーナー、16 席の A V ルーム、1 室 18 席のグループ学習室 4 室が、五階には 72 席の閲覧席が設置されており、また、四階と五階に合計 221,200 冊の図書を収納できる書架が設置されています。五階の閲覧席は、文科省の指導の趣旨を付度して、特に大学院生の優先席とすることになりました。設備の面で特筆すべきことは、パソコンが無線で接続され、館内の至るところで検索が出来ることです。

分館は主として法科大学院および法学部関係者を対象としているために、その蔵書は法学関係の専門図書に特化されています。それらは、総合図書館の収蔵図書の中から専門委員によって選定されたものと法科大学院設置にともなうて新たに年次計画で購入されたものによって構成されています。前者には、第一に、分類記号 [320] から [329] で標記される「法律」の分野に属する資料 27,207 冊、第二に、「政治学・政治思想」に分類される資料 794 冊、第三に、「行政」に分類される資料 386 冊、第四に、「地方自治・地方行政」に分類される資料 485 冊、合計 28,872 冊（平成 16 年 3 月末現在）が、後者には、

平成 15 年度および 16 年度に購入した資料 11,000 冊が含まれ、法学関係専門図書の合計は 4 万数千冊（平成 17 年 3 月末現在）に上ります。平成 17 年度中には 5 万冊を超えるものと思われます。

新規に購入された図書の特徴として、特に法科大学院の教育研究支援を目的としていることもあつて、実定法理論に関する資料のみならず、法思想、法制史等の基礎法学に関する資料や政治・行政・環境・医療等の関連分野の資料、更には、司法・法曹の実務に関する資料が多数含まれていることを上げることが出来ます。優れた法曹の養成を使命とする法科大学院の教育研究にとつて、これらは極めて重要な資料であるといえます。今後更なる充実を図らなければなりません。

また、電子媒体による教育研究支援が充実していることも分館の特徴と言えるでしょう。先ず Web 版として、T K C 法科大学院教育研究支援システム「ローライブラリー」LEX/DB、LEXIS.COM、LLI（主要法律雑誌）が、次に学内 LAN 版として、読売新聞記事 CD-ROM、朝日新聞戦前紙面 CD-ROM が導入され、最高裁判所判例、判例タイムズ、ジュリスト、法律時報、私法判例リマックス、法学セミナー・ベストコレクション、商事法務、NBL、第一法規法規集、



文献月報、法学紀要データベース等から英米の判例・法文献等に至るまで、法学の研究教育にとって必要不可欠な資料をパソコンを通して学内外から容易に検索することが出来るようになりました。これによって、新旧の法情報が大量かつ迅速に入手可能になったことは、法学の教育研究の効率を一層高めるものと期待されます。

一方、法学関係専門図書以外の図書については、利用頻度が高いために複本を置く場合を除いて、原則として利用者の請求に応じて本館から取り寄せることになっています。本館利用者からの請求がある場合には、勿論、分館は本館の取り寄せに応じることになります。この取り寄せシステムは、当面、午前に請求された資料は午後に、午後に請求された資料は翌日の午前に利用者の手に渡るように実施される予定です。

図書の配架については、新聞、雑誌、和雑誌

バックナンバー、洋雑誌バックナンバー、紀要、年鑑、外国法判例集、和書、洋書、官報等、大半の資料は4階の書架に配置されていますが、判例集、主要法律和雑誌バックナンバー、司法試験問題集等、大学院生の利用頻度の高い資料は大学院生の利便性を考慮して優先席に近い書架に配置されています。

また、資料のレファレンスについては、専門性の高い質問にも対応できるように、有能な司書を配置して利用者の要望に応える用意をしています。

総合図書館分館は未だ緒に就いたばかりです。法学の教育研究をどのように支援していくべきか、情報発信基地として本館とどのように連携を保っていくべきか等、難問が山積しています。皆様のご協力を頂きながらこれに真摯に取り組んでいきたいと思っています。

## 図書館で“ことば”について考えてみよう

白鷗大学経営学部教授  
白鷗大学総合図書前副館長  
細 野 英 夫

それほど多くない体験ではあるが、これまでに幾つかの大学を訪ねた。その中には外国の大学もある。例えばサンフランシスコ州立大学デイヴィス分校、ハワイ大学、マレーシアの農科大学等であるが、それぞれ特徴のある建物である図書館があり、内部もそれぞれに特色をもっている。それはあたかもその大学を象徴するかの様であった。長い年月のうちに培われた伝統が染いたものである。

図書館に入ると、そこには他のキャンパスとはひと味もふた味も違った雰囲気がある。

私はあたかも緑濃い深山に入った感がある。ひんやりとした緊張感であるが、決して金属的な冷たさのそれではなく木や紙の持つ暖かさを持ったものであり、ホッとした感じである。その紙には人類の歴史が文化がそして知性が多くの語彙となって刻まれている。いわゆる図書であり、本である。

語彙すなわち単語や慣用句には、日本独自のものがあるといわれている。それは、日本人の心や精神の像を映すものであり、国民性のもつ特色を示すものである。

阪倉篤義氏（京都大学名誉教授）は、日本語の特質について次のように述べている。

1. 自然との調和…春風・夏草、野分・木枯らし、春風秋雨、人生の風雪、自然のまま・自然のふところに抱かれる。
2. 淡泊・漂白・無常…ほどほどに、いさぎよく、枯れる、水に流す、はかない、渡り鳥、きれいさっぱり。
3. 非分析的・直観的把握…勘、こつ、曰く言いがたい、器用さ、融通がきく。身体部位を借りた比喩的表現のいろいろ、擬声語、擬態語。
4. 陰影の愛好…ゆかしい、きめのこまかい、こくのある、わび、さび、いき、なんとなく、ほどよく。
5. 心情主義…根性、けなげ、ひたむき、真剣、遠慮深い、気は心。
6. 他人志向…思いやり、心づかい、さしひかえる、まあまあ、世間体、恥、断言回避。

ここに列举されている六つの項目を見てわかるように、日本人像を形成する特性と言われるものは、かなり情的な面に傾斜する。きびしい分析を理性的に理解することよりは、むしろ全体を感性的に了解しあうことを尊重する態度を基本としていると言えそうである。「まあ、とりあえずビールだな」という会話は日常的な



ものになっている。日本人の話し方は欧米人の場合に比べて曖昧で不明瞭だといわれている所以であろう。しかし、今井邦彦氏（東京都立大学名誉教授）は、日本語「曖昧」説に対して英語でもあると疑問を投げ掛けている。たとえば「ビールを二、三本頼む」などという注文の仕方があるが、「a couple of～」という英語は必ずしも「きっかり二つ」を意味するとは限らず三つ、時には四つ、五つのものを指す場合もあるという。「～とか」「～みたいな」といういい方も批判的となっているが、I like football in a way.（サッカーは、まあ好きかな）。You see a castle, like, over there?（あの、お城みたいなのがあそこに見えるだろう？）などは断定を回避するための

表現として「垣根用語」という言語学上の術語を与えられているという。

日本語にも英語にも、そして他の言語にも「垣根用語」的なものはあるのであろう。すくなくとも、日本語のもつ日本人的な心性を失うことなく使っていきたいものである。

人間は言葉があるからものを考えることが出来るし、感じたことをまとめたり、整理して文章にしたりできる。友人同士、先輩後輩、そして先生とのコミュニケーションに不可欠である。しかし、そこでの言葉の使い方は簡単ではなく一朝一夕に身に着くものではないだろう。図書館になれ親しみ、図書になれ親しむことが大切だと考えられる。

## 図書館ニュース

### 小山駅東口に白鷗大学東キャンパスがオープン

それに伴い図書館が、本館（本校舎）・分館（東キャンパス）の2箇所になります。両方の図書館を自由に御利用いただけます。また、各館とも互いの図書を取り寄せることも可能!! 借りた本をどちらの図書館でも返却可能!! となっています。

**開館時間** 【平 日】9:00～21:00  
【土曜日】9:00～17:00

※ 春期・夏期休業中は時間変更があります。冬期休業中・日曜・祝日は休館です。

※ 図書館カレンダー（開館案内）は、ホームページ・掲示板でお知らせしております。

**入館ゲート** 入館には学生証が必要です。必ずお持ちください。



### 館外貸出

|            | 冊数    | 期限    |
|------------|-------|-------|
| 法科大学院・大学院生 | 15冊以内 | 30日以内 |
| 学 部 生      | 5冊以内  | 14日以内 |

※雑誌の館外貸出しはしていません。

※学生証を持参されていない場合、貸出ができませんのでご注意ください。

# 新着図書 ピックアップ

|           |                                      |             |                                            |
|-----------|--------------------------------------|-------------|--------------------------------------------|
| 007.5/OG  | 「文科系学生の情報術」<br>大串夏身著 青弓社             | 417/MI      | 「統計分布ハンドブック」<br>蓑谷千風彦著 朝倉書店                |
| 015.2/MO  | 「文献調査法」<br>毛利和弘著 日本図書館協会             | 498.12/OS   | 「医事裁判と医療の実際」<br>大阪府医師会 成文堂                 |
| 134.9/TA  | 「ニーチェ入門」<br>竹田青嗣著 筑摩書房               | 519.04/TO   | 「環境学生のススメ」<br>東京農業大学編集 ぎょうせい               |
| 146.8/HI  | 「カウンセリング・スキルを学ぶ」<br>平木典子著 金剛出版       | 547/JO/05   | 「情報通信ハンドブック」<br>情報通信総合研究所編 情報通信総合研究所       |
| ♥—————♥   |                                      | △—————△     |                                            |
| 293.89/AR | 「スウェーデン水辺の館への旅」<br>荒井渕著 富山房インターナショナル | 675.3/KO    | 「新商品開発マネジメント」<br>小日向秀雄著 日本実業出版社            |
| 311.23/OK | 「ジョン・ロックの政治社会論」<br>岡村東洋光著 ナカニシヤ出版    | 723.36/MA   | 「ピカソの戦争《ゲルニカ》の真実」<br>ラッセル・マーティン著、木下哲夫訳 白水社 |
| 325.6/MA  | 「事例で学ぶ手形法・小切手法」<br>丸山秀平著 法学書院        | 780.33/OG   | 「スポーツ用語辞典」<br>小倉伸一著 笠倉出版社                  |
| K/HO      | 「実践ロジカルシンキング」<br>本田一広著 中央経済社         | 816.5/SA    | 「Wordを使った大学生のための論文作成術」<br>佐々木昌著 明石書店       |
| ♥—————♥   |                                      | △—————△     |                                            |
| K47/YA    | 「『図解』基本ビジネスマナー」<br>安田賀計著 PHP 研究所     | 837.5/FU    | 「ニュース英語の翻訳プロセス」<br>藤井章雄著 早稲田大学出版部          |
| Y/TO      | 「栃木県の幼稚園」<br>栃木県幼稚園連合会               | 911.58/TA/1 | 「わらべうた」<br>谷川俊太郎編 富山房                      |
| Y57/OK    | 「実習に役立つ表現遊び」<br>岡本拓子編著 北大路書房         | E/AN/4      | 「旅の絵本」<br>安野光雅著 福音館書店                      |
| 377.6/YO  | 「留学生アドバイザーング」<br>横田雅弘著、白土悟著 ナカニシヤ出版  | E/SI        | 「おおきな木」<br>S.シルヴァスタイン著 篠崎書林                |

## ささやき

図書館の開館日程は、学内の掲示板でお知らせしている他にも、ホームページや携帯電話用ホームページ (<http://osirabe.net/jip/hakuoh/>) で公開しています。図書館を利用する際の参考に、ご活用ください。

平成17年4月1日 発行  
編集 図書館だより編集委員会  
発行 白鷗大学総合図書館  
〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117  
(0285) 22-9737 (直通)  
ホームページ <http://www.hakuoh.ac.jp>  
印刷 (株)尚文堂印刷所